

2010年2月8日

IMT-AVANCED 無線インタフェース提案評価に関する

コレスポネンシ・グループ活動について

1. 背景

第6回 ITU-R SG5 WP5D 会合では、IMT-AdVanCed 無線インタフェースの候補として、6 件の技術提案があり、ITU-R はこれら全てを受領した。この結果、IMT-AdVanCed 無線インタフェース開発プロセスのステップ 3（提案入力および受領確認）が完了し、提案はステップ 4（外部評価グループの評価）で技術的評価が行われることとなった。なお、提案のうち 3 件は IEEE 技術として、また他 3 件は 3GPPP 技術として、評価を行う上でそれぞれ同一と確認されている。この評価活動を促進するために、ITU-R はコレスポネンシ・グループの設立を合意した。本コレスポネンシグループは、2009 年 12 月 28 日から正式に開始され、2009 年 6 月 2 日まで継続する予定である。

2. コレスポネンシ・グループの目的と構成

コレスポネンシ・グループの目的は、IEEE 技術または 3GPP 技術の提案者と外部評価グループ、および外部評価グループ間の情報交換を促進し、評価グループの活動をサポートすることにある。ITU メンバー、技術提案者および外部評価グループの代表者が、コレスポネンシ・グループに参加可能で、以下 3 つの「フォーラム」から構成されている。

- フォーラム 1（IEEE 技術）：IEEE 技術について議論
- フォーラム 2（3GPP 技術）：3GPP 技術について議論
- フォーラム 3（外部評価グループ）：外部評価グループ間の情報交換

現在コレスポネンシ・グループには、11 の外部評価グループが登録している（ITU に登録済みの外部評価グループは 14 である）。

3. コレスポネンシ・グループでの議論

これまでに以下の議論および情報提供が各フォーラムで行われている。

- フォーラム 1 IEEE 主催評価グループコーディネーション会合の報告
- フォーラム 2 ハンドオーバーに関する質疑
- フォーラム 3 シミュレーションの校正に関する情報交換

外部評価グループは、2010 年 6 月に最終的な評価レポートを提出する予定であり、今後コレスポネンシ・グループでの議論が活発化することが予想される。

以上